



## かいふう りくふう お 海風と陸風はどうして起こるの

### かせ お かた 風の起こり方

ちひよう たいよう て あたた ちひよう せつ くうき あたた かる  
地表が太陽に照らされて暖められると、地表に接している空気は、暖められて軽くなり  
うえ  
上にのぼります。空気は、上にのぼるにつれて冷やされ、左右に広がっていきます。

うえ  
上にのぼった空気の後には、まわりから次々と、空気が流れこんできます。そして、また、  
じょうくう ひ  
上空で冷やされて、重くなった空気が下りてきます。

このように、空気の温度のちがいによって、空気は上下に動きます。それにつれて、上空  
くうき ちひようちか くうき よこ うご お くうき なが かせ お  
の空気と地表近くの空気は、横に動きます。こうして起きた空気の流れて、風が起こります。

### りくち うみ あたた かた さ かた 陸地と海の暖まり方や、冷め方のちがいによる

みず あたた さ せいしつ りくち たいよう ねつ う うみ  
水は、暖まりにくく、冷めにくい性質をもっています。陸地は、太陽の熱を受けると、海  
よりも暖まりやすいので、陸地の上の空気が、暖められて軽くなり、上にのぼります。す  
ると、海の上の空気は陸へ向かって流れ出し、海から陸へ風がふきます。これを、海風とい  
います。

よる りくち うみ みず さ りくち うえ くうき うみ うえ くうき  
夜は、陸地よりも、海の水のほうが冷めにくいので、陸地の上の空気よりも、海の上の空気  
のほうが、暖かくなっています。すると、陸から海へ向かって空気が流れ出し、陸から海へ  
かせ  
風がふきます。これを、陸風といいます。（監修・村山 貢司）

